

# 高校でのキャリア教育



給与明細、求人票の読み方を学んだり、職業体験をして働くことや仕事を通じて社会とかかわることの大切さを知る

## 羽衣学園高等学校

大阪府高石市に立地する私立羽衣学園中学校・高等学校は、1923年創立の中高一貫教育の女子校である（2013年度より男女共学）。国公立大学や難関私立大学をめざす「文理特進Ⅰ類コース」、有名私立大学進学をめざす「文理特進Ⅱ類コース」、4年制大学や短期大学など幅広い進路の実現をめざす「進学コース」の3コースがあり（入学時に選択）、キャリア教育もそれぞれのコースに応じた取り組みを行っている。今回は3つのコースのうち、「進学コース」の取り組みについて、進路指導室室長の中山佳子先生と、昨年度まで総合学習を担当していたスーパー特進コース長の的場由樹先生にお話を伺った。

### 総合的な学習の時間導入と同時に よりよい人生を送るための学びを導入

「進学コース」でのキャリア教育は、約10年前の総合的な学習の時間の実施とともに始まった。当時はキャリア教育という言葉は一般的ではなかったが、同校では、多様な教科・分掌の教員が「総合学習科」として総合的な学習の時間の担当となり、「進学コース」では、3年間を通してよりよい人生を送るための授業、すなわちキャリア教育を行うことにしたのである。

同校のキャリア教育は、職業調べや大学・学部学科調べだけでなく、職業体験や、いろいろな価値観を持った人々との交流を通じて自分がどのような人生を歩みたいのかを考えさせたり、求人票や給与明細に書かれている項目について学んだり、非正規雇用と正社員の違いについて学んだりすることで、働くこと、仕事を通じて社会とかかわることを考えさせるキャリア教育を行っていることが特徴である。

なお、学年により多少異なるが、授業はクラス担任と「総合学習科」教員が分担している。また、キャリア教育では、生徒が自ら考えることが必要である。そのため、授業の方法も工夫を重ねている。中山先生は「総合的な学習の

時間は数值的に評価されないこともあり、生徒が飽きずに取り組めるよう工夫しま



中山佳子先生



的場由樹先生

した。ビデオ鑑賞やゲーム感覚で取り組む授業も盛り込んでおり、授業が始まる前に『今日は何をするの』と生徒に聞かれたら総合学習の授業としてうまくいっていると思っています」と言う。学ぶ内容は、年々変化する生徒に合わせて、担当する教員の新たなアイデアを加えたりして毎年改訂を重ねている。

### 自己肯定感を持つことが 他者を認め、社会の一員となる第一歩

2012年度の実施内容は<図表1>の通りである。この中から特徴的なものをいくつか紹介しよう。

まず1年生のテーマは「自分探しからはじめよう」で、目標は「なりたい自分を持つ」とある。1学期は、自分たち一人ひとりの命もかけがえのない大切なもので、多くの人に助けられて生きていることを学ぶことが狙いである。例えば「3. 命・自分の大切さを知るⅡ」では、妊娠から出産までの過程や生きていくことができなかつた命もあることを、プリントを使って学習する。

「4. 自分の歩みを振り返る」の自分年表作成では、自分が成長する過程でどのようなことがあったか、親や周囲の人とかかわりを振り返る。現在は、生まれたときからの振り返りを行っているが、生徒たちの記憶を喚起するために、資料として社会の出来事や、流行したテレビドラマや歌などの年表を配布するなどの工夫をしている。振り返りには、「誕生時は皆が喜んでくれたからパワーがプラス10、幼稚園のときには大ケガをしたからマイナス3」など人生を折れ線グラフで示す。パワーグラフを

<図表1> 2012年度総合学習科 指導内容

高1		高2		高3	
1年生テーマ「自分探しからはじめよう」		2年生テーマ「新しい自分との出会い」		3年生テーマ「未来への扉を開けよう」	
1年生の目標「なりたい自分を持つよう」		2年生の目標「なりたい自分に近づこう」		3年生の目標「なりたい自分を実現しよう」	
1学期 自分を大切に する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス：授業の説明と自己紹介ワーク</li> <li>2. 命・自分の大切さを知るⅠ：小児救急病院</li> <li>3. 命・自分の大切さを知るⅡ：胎児の成長</li> <li>4. 自分の歩みを振り返る：自分年表とパワーグラフ</li> <li>5. 自分を大切にⅠ：ビデオ学習</li> <li>6. 職業を知る：冊子を用いた職業調べ</li> <li>7. 職業インタビューガイダンス</li> <li>8. ★夏休み「職業インタビュー」 ☆興味のある仕事を意識して、事業所や専門学校で体験とプロへのインタビューを行う</li> </ol>	1学期 学ぶことについて	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学ぶということ：ビデオ学習</li> <li>2. 学ぶことと基本的人権：世界の非識字状況について</li> <li>3. ひとり立ちのためにⅠ：求人票と給与明細を読む</li> <li>4. ひとり立ちのためにⅡ：部屋探しと生活費シミュレーション</li> <li>5. 上級学校を知ろうⅠ：大学卒と短大・専門学校卒の違い ☆就職環境の違いについて説明する</li> <li>6. 上級学校を知ろうⅡ：進学先の種類や違い</li> <li>7. 1学期のまとめと夏期課題</li> </ol>	1学期 自分の態勢を 整えよう	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己PRのための基礎準備：面接試験への対応</li> <li>2. マナー・話し方を学ぶ：敬語の正しい使い方</li> <li>3. 願書の書き方Ⅰ：募集要項の見方</li> <li>4. 願書の書き方Ⅱ：願書の書き方</li> <li>5. ★進路別・面接対策講座 ☆実際に面接に関わっている講師を招いて、さまざまな分野の学問・職業についての基礎知識を得る(社会学系・人文学系・英文学系・教育系・栄養系・幼児保育系・看護医療系・理美容系・観光系・就職)</li> <li>6. 小論文・志願理由書を書くためのトレーニング</li> <li>7. 各自の進路目標に関する研究</li> </ol>
2学期 これからの自分について	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 90秒スピーチ：職業インタビューの発表</li> <li>2. 仕事はこうしてつかめ：ビデオ学習</li> <li>3. 仕事オクシジョン：仕事に対する価値観</li> <li>4. 仕事適性チェック：インターネットで職業適性</li> <li>5. フリーターとは？：ビデオ学習</li> <li>6. ワーキングプアとは？：ビデオ学習</li> <li>7. いろいろな働き方：正規雇用と非正規雇用の違い ☆待遇面・社会保障面などの違いを学ぶ</li> </ol>	2学期 異文化理解 とコミュニケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オーストラリア・アボリジニアート：ビデオ学習</li> <li>2. オーストラリアを知ろうⅠ：オーストラリアの地理・歴史</li> <li>3. オーストラリアを知ろうⅡ：映画鑑賞</li> <li>4. ★上級学校を知ろうⅢ：大学模擬授業「オーストラリアと〇〇学」 ☆オーストラリアに関する講義に参加し、大学での学問や学部選択について考える</li> <li>5. 異文化理解・コミュニケーションⅠ：さまざまなコミュニケーション</li> <li>6. 異文化理解・コミュニケーションⅡ：コミュニケーショントレーニング</li> <li>7. 異文化理解・コミュニケーションⅢ：ホームステイケーススタディ</li> <li>8. 2学期のまとめと異文化コミュニケーション体験レポート</li> </ol>	2学期 女性の生き方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ★浴衣の着付け：羽衣学園卒業生による指導</li> <li>2. 女性をとりまく問題Ⅰ：DVの問題点とその背景</li> <li>3. 女性をとりまく問題Ⅱ：起業して活躍する女性</li> <li>4. 女性をとりまく問題Ⅲ：児童虐待問題について</li> <li>5. 女性をとりまく問題Ⅳ：出産に関して</li> <li>6. 女性をとりまく問題Ⅴ：セクハラについて</li> <li>7. ★女性のエンパワメントに取りくむ方々と交流する ☆子育て支援・DV・就業支援の3つの講座から選択し、それぞれの問題を深く知るとともに、エンパワメントに携わる女性と交流する</li> </ol>
3学期 共に生きる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. エゴグラムで自分を知る：交流分析の心理テスト</li> <li>2. 交流会ゲストの紹介</li> <li>3. 交流会に向けて：ワークショップ &lt;ゲストを迎える準備&gt;</li> <li>4. ★「きらりと光る個性的な生き方に出会う」交流会 ☆在日コリアンと白血病患者遺族、車イスダンスNPO、大阪湾再生活動NPO、動物愛護団体の方々のお話を伺う</li> <li>5. 1年間のふりかえり：総合学習への通知表</li> </ol>	3学期 上級学校での学び	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学ってどんなところ？：羽衣国際大学見学会</li> <li>2. 入試制度を知ろうⅠ：チェックテスト</li> <li>3. 入試制度を知ろうⅡ：入試制度のいろいろ</li> <li>4. ★進路別・卒業生との交流会：7分野の卒業生のお話を聞く ☆大学・短大・専門学校など進路別に交流会を行う</li> <li>5. 進学先を調べてみよう：インターネットを利用した情報集め</li> <li>6. 1年間のふりかえり：総合学習への通知表</li> </ol>	3学期	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年間・3年間のふりかえり：総合学習への通知表(1年間の授業の感想をまとめ、評価を行う)(3年間の授業の感想をまとめ、評価を行う)</li> </ol>

まとめた後は、希望者に他の生徒の前で発表してもらおう。

1年生の1学期に「自分を大切にすること」を考えることについて、中山先生は「今、自己PRを書かせると、自分の良いところがなかなか書けない生徒がいます。自己肯定感を持ってなければ他人を認めることもできませんから、自分自身の大切さを知ることは、社会の中で生きていくための第一歩だと考えています」と説明する。

### 職業を取りまく現状を、事例をもとに学習

1学期の終わりから夏休みにかけて、2学期の「これからの自分について」の導入として「職業を知る(職業調べ)」と「職業インタビュー」を行う。職業調べはインターネットや雑誌などの媒体を使って各自興味のある仕事を調べる。これは自分の進路を探すとより、生徒自身が興味のあることから、働くことに関心を持つことが目的である。

職業インタビューは、事前学習として、各自体験する職業について調べ、質問項目を考えてワークシートに記入する。実施分野は<図表2>の通りだが、事業所にこだわらず、専門学校などの教育機関も含まれる。「専門学

<図表2> 職業インタビュー実施分野

分野	訪問期間
スポーツ系(トレーナー等)	半日
幼児教育系(幼稚園教諭)	1日
観光系(ホテル・ブライダル等)	半日
コンピュータ系(プログラマー・CGデザイナー)	半日
旅行系(フライトアテンダント、グラウンドスタッフ等)	半日
看護系(看護師)	1日
放送メディア系(放送技術スタッフ・アナウンサー)	半日
管理栄養士系	半日
心理福祉系(臨床心理士・カウンセラー)	半日

校の先生はその関連の職場で働いていた方も多し、先生として専門学校の生徒に教える立場でもありますから、事業所での体験と同等の効果が得られるだけでなく、教育的な効果も高いと感じています」(中山先生)

なお、職業インタビューは、原則として全員参加であり、夏休み中、1日かけて行われる。当日は、受け入れ先担当者から仕事についての説明を受けた後、仕事を体験。終了後、担当者に全員でインタビューする。「質問は、なるべく1人1回はできるよう、受け入れ先の方からお願いしています」(中山先生)

体験後は事前学習で使用したワークシートに、体験やインタビューを通してわかったことを記入し、1人90秒

<図表3> 「ひとり暮らしの生活費」ワークシート

**2 ひとり暮らしの生活費**

ワーク Let's try 収支の合った楽しい生活

◆毎日の消費生活や年間を見通した消費生活から、自分の実収入に見合った納税のいく支出を配分し、収支が合うように予算を立ててみよう

ひとり暮らしの経済生活は、自分の収入に見合った収支の合う生活であることが原則です。自分の将来を考慮しながら、限られた収入を上手に配分して収入の満足が得られるようにしましょう。

私は社会人1年生になって住居費を払っています。

給与からすでに差し引かれている支出

健康維持もちゃんと費えて

1で選んだ物件Bにかかる費用を記入

どのくらいかかるか想像できる？6月だからまだ冷房も暖房も不要・・・？

いくらくらい今はあかっていますか？

2年( )組( )番( )名( )

A-Bの金額を記入しよう。預貯金できる枠はありますか？

収入		支出	
実収入(個人)	社会引当金	住居費	食費
給与収入	税金	雑費	娯楽費
家族収入	社会保険料	交通費	雑収入
雑収入	ボーナス	収入合計A	支出合計B
		¥131,955	¥117,924

6月の生活費

収入	支出
給与収入	住居費
雑収入	食費
	雑費
	交通費
	娯楽費
	雑収入
	収入合計A
	支出合計B
	収入合計A
	支出合計B

2年( )組( )番( )名( )

A-Bの金額を記入しよう。預貯金できる枠はありますか？

総合学習担当の先生は、授業をしながら生徒の変化を感じ、授業の内容も見直している。例えば、以前は「30歳の自分」を作文に書かせていたが、数年前から「30歳の自分を想像できない生徒が多くなった」そうだ。

「以前であれば、独身でバリバリ働いている、結婚して子育てしながら仕事を続けている、専業主婦の3つのグループに大きく分けられ、グループごとにそれが良い理由を発表するという授業が成り立ちました。しかし現在は、専業主婦が理想であるという生徒が増えています。これは、就職もお金を稼ぐことも難しい現在の社会情勢を受けているのだと考えられます。生徒たちが仕事を通じて社会とのかかわりを持つことについて具体的なイメージを持てるように、授業内容も見直しています」(中山先生)

続いて、3学期の「共に生きる」の「3. 交流会に向けて」では、生徒の視野を広げる目的で、NPOやボランティア団体など、自分の価値観を持って活動をしている人との交流会を行っている。

**学ぶことの楽しさと意味を、生徒たちに伝えたい**

2年生のテーマは「新しい自分との出会い」である。中山先生は「まず生徒に、学ぶことは楽しく意味のあることだと伝えたいと考えました」と言い、「1. 学ぶということ」では毎年、戦争で学校に行けなかったために、夜間中学に通っている高齢の女性のビデオを鑑賞している。「ご高齢でがんにもかかわらず、お孫さんに計算や漢字を教えてもらいながら一生懸命に勉強する姿、中学校を卒業できたら高校にも行きたいと夢を語る姿、戦争でいろいろなものを奪われたけれども、一度身についた知識だけは誰にも奪われることはない」と語る姿に、毎年生徒は感動し、当たり前だと思っている学ぶことのありがたさを感じています」

「2. 学ぶことと基本的人権」は、ユネスコスクールの取り組みの一環として行っている。開発途上国には「収入が少ない→子どもに教育を受けさせられない→子どもが安定した職業に就けない→収入が少ない」という貧困のサイクルがあることや、このサイクルを断ち切るためには教育が大切であることを伝えている。「しかしこれを他人事と感じる生徒がいるため、『3. ひとり立ちのためにI』で、実際の求人票と給与明細を用いて高卒求人職種の理解させたり、給与や租税、社会保障、勤務時間、有給休暇などを読み取らせたりしています」(的場先生)

求人票や給与明細を見ながら説明するが、給与から税

で発表している。

2学期に行う「3. 仕事オークション」は、仕事の価値観を認識してもらうためのゲームで、100万円を元手に、人と話す仕事、家から近い職場など、仕事に関する多様な条件にお金をかけて、就きたい仕事を獲得するというもの。「ゲームを通して、人と接する仕事をしたいと思う生徒もいれば、そうではない生徒、辛くてもいいから給料の高い仕事がいい生徒など、人はさまざまな価値観を持っていることを学びます。また、価値観が多様だからこそのいろいろな仕事に就きたい人がいて、社会が成り立っていることを伝えます」(中山先生)

「6. ワーキングプアとは？」のビデオ鑑賞は、数年前から導入したプログラムである。的場先生は「例えば、コンビニエンスストアなどで働いている人は、正社員か、アルバイトかという区別は高校生にはつきません。そのため、アルバイトのような職業で一生生活できると無意識に思っている生徒もいるようです。ある年、フリーターという言葉を見聞きしたことがない生徒が入学してきました。そんなときワーキングプアの問題も顕在化し、就業の形の違いが自分の生活に影響することを伝える必要があると考えたのです」と導入の経緯を語る。他にも、生徒は「正社員」「派遣社員」といった言葉は知っているが、何が違うのかはよく知らないといった状況で、待遇の違いや社会保障の違いを含め、両者のメリットとデメリットについてプリントを使って解説している。

金、社会保障費などを引かれて、手取りが13万円程度とわかって「それだけあれば十分」という感覚の生徒がいる。そのため、「4.ひとり立ちのためにⅡ」では、不動産広告をもとに一人暮らしをするにあたり必要な資金を計算させたり、1カ月の生活費を計算させたりするなど、工夫を重ねている。生活費を計算するためのワークシートは<図表3>を使っている。食費、住居費、光熱水道費、交通通信費などについて必要と思われる金額を記入するが、合計すると、ほとんどの生徒は13万円を超えてしまう。ここで生徒に、安定した収入が得られる職業に就くことの重要性を伝えるのである。

さらに「5.上級学校を知ろうⅠ」で、同じ職種でも高卒と大卒では給料が違うことや、同じ業界でも、薬剤師など資格の有無で待遇が異なること、社会はより高度な教育を受けた人材や能力を持っている人材を待遇の良さという形で評価していることを具体的に伝えている。

これらは大切な知識ではあるが、高校でここまで学習させる例は少ないだろう。実は同校も当初、興味のある仕事や学問から進学先を考えさせていた。ところが興味から入ると、就きたい仕事が決まったら、大学・短大・専門学校の違いをあまり考えずに将来を選択している生徒がいることがわかった。「実は、大学を卒業しなければ就けない職種は、医師、薬剤師など意外と限られています。しかし現実には待遇の違いがある職種もあります。そこでまず職業観を育み、現実を認識させることから始めることにしたのです」(的場先生)

### 複数の目的を持つ授業を工夫

2年生の夏休みは、最低1校、オープンキャンパスに行くことが義務づけられ、見たり質問したりするポイント、大学入試制度や学費などを記入するプリントを渡し、夏休み明けに提出させている。

2学期のテーマである「異文化理解とコミュニケーション」は、冬のオーストラリアへの修学旅行の事前学習を兼ねたものである。中でも「4.上級学校を知ろうⅢ：大学模擬授業『オーストラリアと〇〇学』」は、オーストラリアについて理解を深めると同時に、さまざまな学問の面白さに触れ、同じテーマでも学問によって多様な切り口があることを知るといふ、進路学習の両方を目的にしたものである。「年度により多少異なりますが、オーストラリアを例に、法律、観光、語学、理学療法などさまざまな分野の先生に講義をしていただいています」(的場先

生)

3年生のテーマは「未来への扉を開けよう」。1学期は大学入試に向けての実践的な内容だが、2学期になると、推薦入試などで早々に進学先が決まる生徒、一般入試を受験する生徒などさまざまであることから、社会で活躍したり家庭生活を送ったりする上で大切なことを学ぶ時間にしている。

なお、3年間を通し、毎回授業の終わりには、短くても良いので感想を書くことになっており、各学年の終わりにも「1年のふりかえり」として自己評価と授業評価を行い、評価の理由や感想を書かせている。これは聴く力、考える力、書く力の育成が目的である。

「総合的な学習の時間」の副次的な効果として、中山先生と的場先生は「通常の授業以外の生徒の姿を見ることで、生徒をよく理解できるようになった」と口をそろえる。壁新聞を作らせると上手かったり、グループのリーダーになって作業を進めたり、グループの中でいろいろな気遣いができる生徒がいたり、講義型の授業では見えにくい生徒の良さが発見できるのだという。「総合的な学習の時間の準備や指導は大変ではありますが、教員にとっても有意義な取り組みとなっています」(中山先生)

来年度より男女共学になるため、一部の内容は変更する予定であるが、大きくは変わらない。

### 羽衣学園高等学校

◇所在地：大阪府高石市東羽衣1-11-57

◇沿革：1923年、羽衣高等女学校設立  
1940年、財団法人羽衣学園設立  
1948年、羽衣学園高等学校発足  
2003年、創立80周年記念式典挙行  
2013年、男女共学化を予定

◇学級編成：[全日制]普通科 各学年5クラス

◇生徒数：女子551名 2012年8月1日現在

◇特色：1923年に米国留学から帰国した島村育人が、日本の発展のためには女性が世界で活躍できるための教育が必要であると考え、創立した女子教育の伝統校。「自由・自主・自立・個性の尊重」の人間教育を教育理念に掲げ、中学校・高校の一貫教育を行っている。系列に羽衣国際大学がある。2013年度からは、中学校と高校が同時に男女共学に改編。コースやカリキュラム、制服も一新される。

◇卒業生の進路：2012年3月卒業生 175名  
・進学先：4年制大学106名 短期大学22名 専門学校30名 就職その他17名  
・合格の内訳(延べ数)：国公立大学5名 私立大学139名 短期大学33名 専門学校39名